

MINATOビジョン・タウンフォーラム 子ども・子育てグループ（第1グループ）

会議録（第2回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年9月5日(金)18時30分～20時30分

会 場：芝浦港南区民協働スペース

メンバー：14名(欠席者1名)

【内訳】対面参加：10名、オンライン参加4名

事務局：企画課グループ担当2名、サポートメンバー1名、子ども関連所管課長4名、
委託事業者3名(うちファシリテーター1名、グラフィックレコーダー1名)

■次第

(開 会)

- 1 事務局より連絡
 - ・所管課長紹介等
- 2 検討テーマに関する議論
 - ・2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿
 - ・2040年から2025年の港区民へのメッセージ
- 3 事務局より連絡
 - ・次回案内等

(閉 会)

■配付資料

- 資料1 第2回グループ会議進行資料
資料2 第3回グループ会議に向けて
資料3 第1回会議録

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第2回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

- 1 事務局より連絡
 - 所管課長が紹介された。
- 2 検討テーマに関する議論
 - ファシリテーターより、グループワークの進め方、ねらいについて説明が行われた。

ラウンドごとの意見を付箋に書き出して意見を発表しながら、模造紙上で意見を分類分けした。練習フェーズを実施せず、参加者が意見について議論する時間を多く設けることとした。

(1)練習ラウンド①過去 15 年の港区の変化

(主な意見等)

- 参加者：10 年前から港区に住んでいる。保育園の数、共働きの家庭が増えた。国、都、区の子育て支援策が増えたと感じる。タワーマンションが増え外国人居住者、観光客が増えた。再開発で昔ながらの店が減ってきている。
- 参加者：物価が上がった。デジタル化が進んだ。個人商店が減少。肌感覚だが、子どもの数が増えていると感じる。タワーマンションが増えている。田町の駅・付近、混雑が激しくなっていると感じる。
- 参加者：当時は岡山県にいた。東京に戻って感じたのは、外国人の増加。実家の周りに高層マンションが増えて緑が減った。
- 参加者：港区に四半世紀在住。開発地域増加し、高層マンションが増えた。高齢者の増化。外国人旅行者と留学生など在住の方が増えている。2013 年ころから遊具の安全性が見直されてきている。保育料補助・見直しなど、子育て支援が改善されている。
- 参加者：ちいバスのルートの増加や高輪ゲートウェイ駅が完成するなど、交通手段が増えて便利になった。特に芝浦港南エリアなのでタワーマンション居住者が増え、子どもが増加した。公立中に進学する子どもが減り、中学受験が増えているのではないかと感じる。
- 参加者：港南小の生徒数増や芝浜小開校など、子どもが増えたと感じる。ほとんどの人が当たり前のようにスマホを所有しており、テレビより YouTube を見る人が増えた。コロナ禍ということもあり、テレワークが増えた。また、暑くなったと感じる。
- 参加者：妊娠後、港区に引っ越してきた。その時感じたのは港区の子育てサポートが充実しているということ。今はそれが更に充実しており、今月から第 1 子の保育料が無償化されるなど、より働きやすくなっている。保育園が増えていると感じる。
- 参加者：15 年前東京に越してきた。2010 年頃はスマートフォンが出てきた辺り。オリンピック誘致で、地価が上がり始めた。当時「保育園、落ちた」と、世が動き、保育園数が増えた。15 年、30 年前には小学校の統合などの計画があったが、これほど足りなくなるとは想定外だったのだろうか。
- 参加者：2010 年に海外から港区に戻った。それまで 20 年以上海外在住。地元の港区に帰ってきたら空気が悪いと感じた。若い人が増えた。最近新駅ができた。昔より外国人が増えた。ビルが多いと感じる。
- 参加者：2010 年に娘が誕生した。当時、保育園に落ちたが、その後、数が増え、今は保育料が無償化されておりうらやましい。児童数の増加で小学校の教室が足りなくなっている。スーパーや高層マンションが増えた。人口、外国人旅行者も増えた。
- 参加者：15 年前は中学生で、東日本大震災後、区の防災体制が大幅に強化されたと感じる。地域の防災訓練などが進んだ。安全な街としての信頼感が増した。

(2)練習ラウンド②15年前の港区民へのメッセージ

(主な意見等)

参加者：人口増に対する対策が必要。保育園の入りやすさや保育料無償化など、子育て支援に何が必要かを考えてほしい。そうすることで住みやすい地域になると思う。外国人観光客が道・駅で迷っている人が多いため、わかりやすい表示をするなどの対応があるとよい。

参加者：空気が悪いので、工事をしているところのそばには住まない。ビルが多過ぎる。政治を変えるために選挙に行く。何十年も前に田町と品川の間に新駅ができると聞いていた。外国人が増え治安が悪化していると感じるので夜歩く際は気を付ける。キャッシュディスプレイの周辺にゴミが多い。子どもの塾帰りなど気を付けてほしい。若い人が増えたのでご近所で仲良くしましょう。

参加者：オリンピックで地価上がるので買っておくこと。タワーマンションが増えている前提で政治をしてほしい。小学校が足りなくなるので小学校を増やすこと。皆がデジタルを使えるようになるので便利になる。保育園が増えるので前向きに家族の計画ができる。

参加者：子育てサポートが充実するということは、子育ての全体的な関心などが上がっている。保育園が増えているということは、困っていることが可視化されている。

参加者：皆がスマホを持っているが、歩きスマホは良くない。皆が YouTube を見ており、フェイクニュースなど見極められるように、情報リテラシーを高める必要がある。テレワークが増えたので一部屋増やす、大きめの間取りを選択しておくとうい。

暑くなっているので、子どもは汗をかく練習、体調管理をしっかりと。

参加者：公立中への進学が減ったので中学受験が激化、受験戦争に巻き込まれる覚悟が必要。芝浦港南地区の子どもが増えたので、子育てしやすい場所に変化。高輪ゲートウェイ駅ができたので不動産価値が上がる。

参加者：高層マンション増えることで挨拶しないなど他者との関係が希薄になるため、同じマンション内で寄り添えるような仕組みがあるとよい。高齢者の増加を踏まえ、階段の段差を減らすなど思いやりを持った配慮のある施設を増やすことが必要。YouTube、ゲームなど子どもが外で遊ばなくなっている。外も遊べる環境になっているとも言えるとういが、暑さにも考慮が必要。開発地域の増加について、ビルを建てることは良いが、それに伴う公共機関・施設の拡大、配慮も視野に入れること。例えば駅の改札、階段から降りてホームに降りられない時間帯がある。保育料補助増、港区は税収も多いため、区民は潤っている状況でサービスを受けられる。外国人旅行者・留学生に関しては、日本のルールを守ってほしい。ごみ問題については外国人に加え、ゆとり世代の方も通勤中などの食べ歩きが普通になってきており、羞恥心がなくなっている。外国人には日本をきれいに使ってほしいので、ゴミの廃棄場所など、ルールをうまく伝えられるとうい。「なんちゃって愛犬家」が増えており、例えばスマホを見ながら、糞をしている犬を見ないようにして、そのままにして立ち去る人がいる。ルールを守る仕組みづくりが必要。

参加者：高層マンションが増えるので、学校を建てるための土地を早めにキープしておくこと。7階建ての芝浜小学校には驚いた。子どもには広々とした小学校で学んでほしい。広い間取りの建物が減っていくので、広い間取りの部屋を早めに買うべ

きだと伝えたい。外国人が増化するので、他文化を理解するためにも、日本人が文化や語学を早めに学ぶことも必要。

参加者：子ども増えるため、待機児童が増加する。今年から始まった保育料無償化の影響もあってか、指数が 40 点あっても保育所に入れないという噂もあるため、もう少し早めに保育所を増やす必要がある。タワーマンションが増えていることもあり、公開空地を利用することで、防災に強い街、安心・安全な通学路の確保につながると思う。デジタル化においては情報リテラシーが重要。勉強して高める必要がある。混雑という点においては、田町駅は異常な混みようで「ぶつかり屋」もいるとのニュースがあった。大きなビルができることは分かっていたことなので、先に広めにしておくべきだったのではと思った。

参加者：タワーマンションが増え、ファミリー層が増えるので、学校増築を早くしておくべき。共働き率が増えたので、学童の整備を早めに対策する。保育園の数が増えたが、同時に先生の人数、質の確保も必要。ごみ問題については、他のマンションのごみ置き場に捨てるなど、ごみの捨て方や置き方が問題。文化が異なる外国人とどう共生していくのか、今後も課題として強くなっていくのではないかなと思う。

(3)第1 ラウンド 2040 年の港区のうれしい姿・避けたい姿

(主な意見等)

【うれしい姿】

参加者：支援が必要な子にすぐ手を差し伸べられる。立場や年代が違ってても意見が言いやすい。

参加者：いろいろと便利になり、子どもの選択肢が増えている。0 歳、妊娠中のサポートが増え、出産・子育てに対してポジティブになっているとうれしい。

参加者：24 時間 365 日いつでも子どもを預けられる。社会で子どもを育てる。誰でも子育てにお金がかからない。受験、習い事について、コスト・手間など親がかける労力・心配をしなくてよい。2040 年時点で未来に必要なスキルを、社会が子どもに教育できることが大事。

参加者：地域の皆で子どもを見て、安心して遊べると良い。集団登校は復活してほしい。また、商店街も復活し、子どもが一人でも商店街各店舗で買い物できると良い。

参加者：ベビーカー、高齢者のためにも駅のエレベーター設置。ジェンダーの視点からも髪型や靴下の色指定などの古い校則が見直されているとよい。また、外国人ともお互いがわかりあい、多文化共生が進んでいる。国際化していく 2040 年に向け、外国語のハードルが下がり、外国語に触れる、使えるようになっていると良い。

参加者：子ども一人で安心して歩けるまちになってほしい。公園や屋内の遊び場、子どもが体力を付けられるような場、自然がたくさんあるとよい。子ども用品を買える場所が増えてほしい。港区には子育てしやすいまちナンバーワンをめざしてほしい。

参加者：子育て支援が進んでいる。公立の小・中学校が見直されている。港区の人口が維持されていると良い。

参加者：一時預かり、送迎などいつでも頼れる保育サポートが充実していると良い。自転

車駐車場が狭く、ママチャリを気軽に止められないので、すいすい行けるようになっている。親の働き方、生活リズムを踏まえ、子育てと仕事の両立がスムーズになっていると良い。外国人の子育て世代が増えているが交流の場が少ないので、保育園に入る前に交流の場が増えることで理解し合っていると良い。

参加者：遊具が充実しており、子どもの居場所、子どもが行ける場所が増えてほしい。雇用形態で保育園に入れない方が出ないように、融通がきくと良い。また、街が明る過ぎることなく、星が見えると良い。

参加者：インターナショナルスクールの質と数が向上していることが望ましい。多様な教育方針として、選択肢が広がる未来が良い。バイリンガル教育やチーム教育などができていると良い未来になる。

参加者：区立小学校にもインターナショナルスクールのような小学校等があると良いと思う。インターナショナルスクールは学費が高い。また、外は暑くなっていることもあり、「子育てひろば あっぴいパーク高輪」のように無料で利用できる室内遊び場が増えているとうれしい。

参加者：子どもが安心して伸び伸び育てる環境、ご近所コミュニティがあって助け合いのできる街、都会のオアシスのように緑豊かであるとうれしい。

参加者：既存のコミュニティでのイベント（お祭りや季節の行事など）が大切にされているとうれしい。

【避けたい姿】

参加者：支援が必要な子どもが見えづらく、子どもが孤立・分断している。また、相手を否定、自分との違いで交流がないことは避けたい。

参加者：子ども狙った犯罪などが増加し、治安が悪くなるのではということを懸念。

参加者：小学校、学童、保育園が足りない。収入が増えることで、かえって子育てにお金がかかる。教育は家庭の自己責任となっているのは避けたい。

参加者：緑、公園の減少。高層ビルで空が見えない。子どもたちに空は見せたい。外国人の集団が5～6人でたむろしていることがあり、こわい。

参加者：遊び場が少ない。不登校が増えることは避けたい。

参加者：公園などの減少により子どもの遊ぶ姿が少ない、居場所が少なくなることは避けたい。

参加者：インターナショナルスクールに通わせる家庭が増えることで、日本文化を知る機会が減ってしまうとさみしい。また、幼児期からの塾、幼児教室などによる詰め込み教育で子どもらしさが減ってしまうと悲しい。ICTが進み、授業がノートではなくiPadになるなど、近視が進み、字も下手になる。

参加者：AI等の発展により、コミュニケーションが減る未来、人との付き合いが減る、孤独で子育てが独りになる未来は避けたい。

参加者：無計画な都市開発により景観が悪くなる（公園や緑がなくなる）ことは避けたい。

参加者：無計画な都市開発、公園をつぶす、子どもにやさしくない街になることは避けたい。

参加者：インターナショナルスクールが義務教育として認められてほしい。

(3) 第2ラウンド 2040年から2025年の港区民へのメッセージ

(主な意見等)

【うれしい姿に対して】

参加者：未来は明るいが、変化を嫌うな。コミュニティに参加しよう。選挙に行こう。

参加者：利他の精神で周りを大事にしてほしい。人の気持ちを考える。日本文化を大事にしてほしい。選挙に行って政治を変えることも大事。

参加者：公立の中学校の校則について、学校によって違うが、ここまでは認めても良いというベースは共有すべき。商店街、町会のサポートが大事。高齢化等により町会の人の手が足りなかったため、夏祭りがなくなったと聞いた。

参加者：まちづくりのところで、エレベーター、ママチャリなど、子育て目線を取り入れたまちづくり。外国人・多様性のところを公教育にもっと取り入れてほしい。

参加者：多国籍化、多様化する区民として子どもに恥ずかしくない行動を。

参加者：近代化と歴史が融合された子どもが好きになれるまち。昔も今も大事にするまち。ブランドにこだわらず過ごしやすい生活を意識する。高級な店ばかりが増えている。きらびやかだけど中身がないということがないよう、見栄えに見合う中身になってほしい。

参加者：多様性に関して、隣人を知る努力をしてほしい。

参加者：育児・教育ともに、AI発達の未来は明るい。学校は学びの場だけでなく、コミュニケーションを重要視した地域のハブを大切にしてほしい。

【避けたい姿に対して】

参加者：緑が少ないことについて、芝公園、有栖川など夜にもピクニックなど楽しんでいる人が多い。都市型の公園でできることがもっとあると思う。

参加者：再開発のところで、ビルをむやみに建てず、もっと木を植える。AIによってコミュニケーション能力が低下すること対応し、コミュニケーションに力を入れる。防犯対策アップ。

参加者：都市開発により、子どもの遊び場が少なくなりたい。子育て支援がさらに活用できるように力を入れてほしい。一時保育などを利用しようとしても予約がいっぱいなどの現状がある。利用しやすくなっていると良い。

参加者：緑が少ないということに対して、緑は財産なので、計画的な都市開発をしてほしい。iPadなどによる教育については、デジタル化を取捨選択し、読み・書き・そろばんなど日本らしい教育も大切にしてほしい。港区はネットの制限が緩いと聞いたことがあるので、子どもにネットの恐ろしさなどもしっかり伝えてほしい。

参加者：人との関わりのところで、放課後に遊べる時間が少ない。放課後にも意識的に友達と約束して遊ぶことで、コミュニケーション能力もアップするのではないかな。高齢化・核家族化への課題により対応するため、これまで以上にサポートの強化が必要。近所付き合いについては、子どもと高齢者の関わりが増えるとよいと思う。シルバー人材センターの方と将棋の対局などの経験は子どもにとってもうれしいもの。公園、遊び場がない点について、子どもが区に意見を言う場があると良いのではないかと考える。

参加者：AIによってコミュニケーションが減ることについて、人付き合いを面倒くさがらないことが大事。

参加者：ネットリテラシーを家族全員で上げる。

参加者：支援が必要な子どもが見えづらいということについて、声の小さい人に寄り添うことが大事。分断ということについて、小さな対話を積み重ねて分断を越えていくことが大事。

参加者：子どもとコミュニケーションを取り、他の子どもにも目を向ける。子育てがしやすい港区については、ためらわずに子を産めるサポートの充実。子育てに対するマイナスなイメージを持たないこと。

参加者：子どもたちの地域意識が薄れる。国際教育が進む中、港区で育った誇りが失われてしまう可能性がある。地域とのつながりを大切に。

参加者：共働きが増えた。区内企業にも協力いただき、休みやすい環境が整い、言いやすい環境になっているといい。

3 事務局より連絡

事務局より、第1回会議録の修正、第3回グループ会議と発表会の開催日時、開催場所、本日の会議のグラフィックレコードの確認方法についての案内がされた。また、第3回グループ会議に向けた資料発送、当日の会議の進め方の案内もされた。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。